

空気のきれいさを測定しませんか？

室内空気中の総揮発性有機化合物(TVOC)分析について

塗料などに含まれる未規制の化学物質が子ども達に悪影響を与えないだろうか？



平成14年に現在の室内濃度指針値が決められて以降、約15年経過したことで、指針値を定めた化学物質以外の代替物質による問題等が新たに指摘され、毒性が明らかになったことなどにより新たに指針値等が設定される予定です(詳細は、ザ・ナイツプロポーザルP-00151)。また今後も、規制されていなかった化学物質の毒性が、後に判明する場合がありますが懸念されます。

規制されていない物質も含めて空気中に含まれる揮発性の化学物質を測定できる方法として、総揮発性有機化合物(TVOC)^{*1}があり、暫定目標値として $400 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ^{*2}が設定されています。

※1 総揮発性有機化合物(TVOC)とは？

図は、暫定目標値を超過した教室のクロマトグラムを示しており、50以上のピークが検出されています。これらのピークの中で、ヘキサンとヘキサデカンが検出される時間の間に検出されたピークを揮発性有機化合物(VOC)と定義し、その間に検出されたピークをトルエン換算して求めたものが総揮発性有機化合物(TVOC)濃度となります(JISの定義に基づき)。

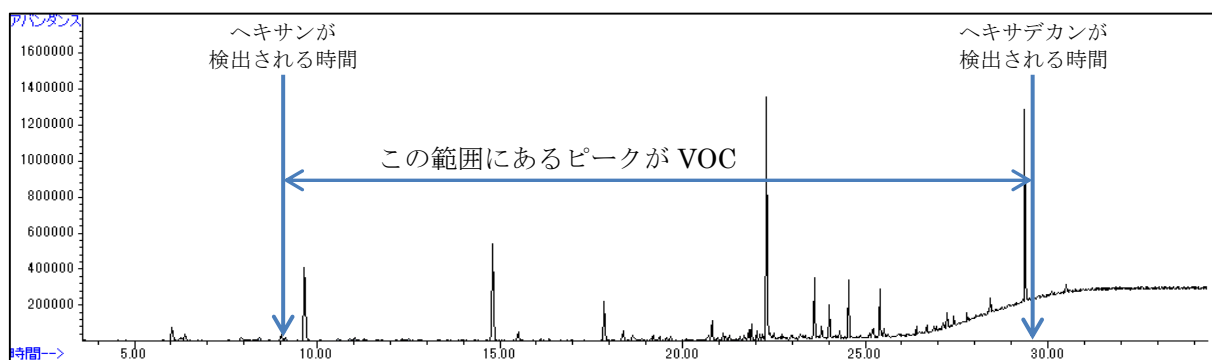


図 暫定目標値を超過した教室のクロマトグラム

※2 暫定目標値 $400 \mu\text{g}/\text{m}^3$ とは？

この数値は、国内家屋の室内VOC実態調査の結果から、合理的に達成可能な限り低い範囲で決定した値であり、室内空気質の状態の目安として利用されることが期待されています。

当社では、室内環境中の総揮発性有機化合物や室内濃度指針値に設定されている物質の分析が可能です。詳しくは、当社 **環境分析部 佐藤(亮)、浦本(フリーダイヤル0120-01-2590 内線382、410)**まで、お気軽にお問い合わせください。

